



発行所
 (一社)福島県電設業協会
 発行人坂本幹夫
 〒960-8114
 福島市松浪町9-6
 (福島県電設会館)
 TEL (024) 533-6226
 FAX (024) 533-6235
 E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp
 編集印刷 福島建設工業新聞社
 福島市西中央2-59

協会の持続的な発展目指す

電設業の魅力向上へ



一般社団法人 福島県電設業協会
 会長 坂本 幹夫

新年あけましておめでとう。今年あけましておめで、甚大な被害は収束をみず、とりわけ沿岸部では、津波被害・原発事故などかど厳しい時代・環境のによる被害の爪痕が今な下、つかの間ではありまお深く、本格的な復旧にすが、ご家族お揃いで新は至っていません。春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。これまでは施設・設備の復旧、除染作業、インフラ整備など、復興の足掛かりとなる取り組みが中心に行われてきたところですが、集中復興期間「5年間の終了」を踏まえ、昨年、復興庁から「平成28年度以降の復旧・復興事業のあり方」が示され、結果として復興事業の規模縮小が予想されています。しかしながら、未だ福島県ではそういった全県規模の総力戦をもってしても、極めて広範囲かつ、興に關する予算が満たされず、中長期的に建設工事の担い手が不足すること懸念され、我が協会としてもこの問題が急速に進んでいる現状がある。協会が健全に発展し、人材の確保と技術・技能の継承が必要不可欠と考えておりますので、これからの法律の確実な施行に、また、中長期的な課題

TOSHIBA
 Leading Innovation >>>
 際立つ明るさ
 驚きの高効率
T.LEDs
E-CORE
 高効率LEDダウンライト「イーコア」
 際立つ明るさ 285lm
 驚きの高効率 50lm/W
 業界の省エネ性 電圧177V
※当社白熱電球ダウンライト器具(D-7200NB(W))と40W形ミニクリプトランプの組合せとE-CORE]高効率省エネタイプ、白色相当(LED:44001W-L81)の比較
東芝ライテック株式会社
 http://www.tlt.co.jp/
 郡山営業所 TEL(024)922-5511

謹賀新年
 本年も相変わらぬご指導ご支援をお願いいたします
 一般社団法人 福島県電設業協会

Panasonic
 美しいLEDの光を、多彩なスタイルで選ぶ。
 一体型LEDベースライト
iDシリーズ
 Panasonic LED
 Wonders! by Panasonic

器具
 ライトバー
 パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 北海道・東北電材営業部 福島電材営業所 〒963-8024 福島県郡山市朝日2丁目5番15号 TEL.024-939-7731

平成28年 年頭所感

復興の新たなステージに向けて

福島県知事 内堀 雅雄



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。震災から間もなく5年を迎えようとしております。今もなお10万人もの県民の皆さんが避難生活を続け、廃炉・汚染水対策や被災者の生活再建など課題が山積しております。復興はいまだ途上でありま

その一方で、一層復興を実感できるよう、昨年末に改訂した復興計画に基づき重点プロジェクトを確実に実行に移し、スピード感を持って取り組んでまいります。

中でも、避難地域の復興再生は最優先課題であります。環境回復や生活再建はもちろん、医療や公共交通などの広域的な課題への対応やインベシジョンコースト構想の具体化など、一日も早い避難地域の復興再生に向けて、県民の皆さんが安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。

また、経済や産業に活力がなければ福島は復興は成り立ちません。農林水産業、商工業、観光業などの既存産業の再生はもとより、再生可能エネルギーや医療関連産業を始め、ロボット関連産業、航空宇宙関連産業など、新たな産業が福島の地で生まれ、育つように取り組みを進めてまいります。

このほかにも、風評・風化対策、避難者支援、強い農林水産業の再生、活力ある商工業づくり、社会生活基盤整備など、山積する課題の一つ一つに全力で取り組んでまいります。

震災・原子力災害からの復興と地方創生を2つの大きな柱として、直面する課題に果敢にチャレンジし、「生まれて良かった、住んで良かった、来て良かった」と思える福島県の実現を目指して、全力で県政を運営してまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。東日本大震災から5年目となる新年を迎えました。

建設業界や県民の皆様とともに復旧・復興事業に取り組みできたことにより、昨年3月の常磐自動車道の全線開通を始め、会津縦貫北道路4工区や国道288号船引バイパス1工区などの本県の復興を支援する道路の整備や、復興公営住宅や県の未来を創造する拠点施設の整備など、県内各地で復興・再生に向けた公共土木施設等の整備が目に見える形となつて現れてまいりました。



福島県土木部長 大河原 聡

「新生ふくしま」を実現

今年は、集中復興期間から復興・創生期間へとステージが移ります。県土木部では、被災地域はもとより、福島県全体でその地域が持っている力を最大限に発揮できるよう、全川原団地など多くの団地で建築工事に着手し、全体計画4890戸全てを平成29年度末までに完成させるため、さらに整備を加速してまいります。

被災地の復興支援に際しては、県道小野宮岡線などの避難解除区域等の復興を支える「ふくしま復興再生道路」の整備や「津波被災地復興まちづくり」の推進に努めてまいります。

また、昨年9月に発生した関東・東北豪雨の災害復旧の対応については、昨年末までに全ての被災箇所について災害査定を終えたところであり、速やかに本格的な復旧工事に着手し、早期の完成を図ります。特に、被害が甚大であった南会津町の檜沢川や館岩川については、復旧に合わせて河川の拡幅や橋梁の架け替え等の改良工事を実施することにより、

県民の安全・安心の確保に取り組みでまいります。

これらの事業に加えて、今後も災害に強い道路ネットワークの整備、土砂災害から人的被害を未然に防止するためのハード整備とソフト対策が一体となった総合的な土砂災害防止対策、良好な市街地を形成する都市基盤の整備、物流機能を強化する港湾施設の整備などを計画的に進めるとともに、予防保全の考え方に基いた戦略的な維持管理を着実に実施してまいります。

最後に、担い手の育成・確保については、現場見学会等の協力や各

種表彰制度による建設産業のイメージアップ、関係団体と連携した合同就職説明会の開催や処遇改善に向けた相談業務などに加え、昨年4月から本格運用された改正品確法など、いわゆる担い手3法の基本理念に基づき、国・県・市町村等、公共工事の発注者が連携して発注事務の適正化に努めるとともに、建設業界の経営安定に向けた施策を実施し、技術者の皆様が誇りと意欲を持ち続け若い技術者が数多く育つという環境づくりに取り組んでまいります。

震災以降、復旧復興需要の増大に伴い建設

業界を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中であっても、復興の最前線で活躍されている皆様は、本県の元気の源であり、復興の牽引役であります。県土木部では、「使命」「挑戦」「責任」「誇り」を復興の基本理念として被災者の方々に寄り添いながら職員1500名が一丸となつて取り組んでまいりますので、安全・安心で活力に満ちた「新生ふくしま」の実現に、より一層の御協力をお願いいたします。

人と環境を明日につなぐ、
ニノテックのシステムエンジニアリンク

情報・通信・制御・計装

株式会社ニノテック
NINOTEC 代表取締役社長 樽川 啓

本社 / 〒963-8577 郡山市島二丁目44-2
TEL (024) 935-1700 FAX (024) 935-1706
拠点 / 仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

換気扇・照明器・空調機
オール電化・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社
福島支店

〒963-0547 郡山市喜久田町卸1-76-1
TEL(024)959-6060 FAX(024)959-6066

ディーゼル発電機 ガスタービン
コージエネレーションシステム

ヤンマーエネルギーシステム株式会社
いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一
TEL (0246) 581-5811
FAX (0246) 581-5888

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA
電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社
【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

白河 / TEL (0248) 27-3385代
須賀川 / TEL (0248) 72-7136代
郡山西 / TEL (024) 952-5455代
郡山南 / TEL (024) 923-3298代
郡山北 / TEL (024) 939-3081代
会津 / TEL (0242) 37-2660代
町原 / TEL (0244) 22-5105代
馬場 / TEL (0244) 35-1234代
福島東 / TEL (024) 546-3700代
福島南 / TEL (024) 553-1181代
いわき南 / TEL (0246) 28-6111代
勿来 / TEL (0246) 62-3122代

山形・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟
電材営業所 45ヶ所
住設建材営業所 9ヶ所

明るい未来へ躍進の一年に 6支部長が年頭あいさつ

「安全第一」を誓う

福島支部長



大槻 博太

され、これを食べると特別な力を与えられるとされてきたからです。

鏡餅に橙を添えたい。

毎年、新しい年の初めにあたり一年間の幸せを神々にお願ひするため神社に詣でます。お正月には鏡餅を供えその餅を食べます。それは古来丸いものは神々が宿り、餅には稲の霊が宿っていると

みかんや譲葉(ゆずり)はを添えますが、橙は「代々家が栄えるよう、譲葉は新しい葉が成長したあと古い葉が落ち、世代交代の繰り返しによって「子孫が長く」とにたとえられています。

話は変わりますが昨年の清水寺森貫主による一年を表す漢字「安」は「安」でした。国を守る為の安全保障問題や世界各地で起こるテロ事件等を考えたときに国民の安全は大丈夫なのか？との問いかけでしょうか。

昨年は一部上場会社による長年の粉飾決算、マンション新築工事の杭工事におけるデーター改ざんや、肥料製造企業や点滴薬製造企業による長年の偽装工作等、日本の安全神話を根底から覆す事件がいくつも発生しま

地域に明るい光を

白河支部長



車田 昭

「基礎杭のデーター改ざん」という文字通り根幹を揺るがす事態が発生しました。

昨年一年間を通して、国内においても様々な出来事がニューアス等で報じられました。それらは喜ばしいものばかりではなく、どちらかと言えば悲しく感じるものが多かったように感じられます。建設業界においては、

震災からの復旧・復興とともに、今後の更に豊かな生活基盤を整備するべく、われわれ電気設備工事業界も日々の業務を通して地域貢献を果たしてきておりますが、今までの

それらを継承することも、われわれの企業活動として、地域に明るい光を注ぐ一年となることを御祈念申し上げて年頭所感に変えさせていただきます。

復興への道程まだ

相双支部長



八巻 正隆

感謝の声と激励の言葉が日増しに聞かえてきております。

震災以来日々努力と研鑽を積み重ね、労働者不足と戦いながら、膨大な作業量を創意と工夫を凝らし予定工程を遵守しながら、一路目的へ向かって毎日突き進んでいる職人に対し、地域住民より

いち早く回復して観光・物産・漁業が再開され、県土が豊かになる日を一日も早く迎えるために、我が協会員も

また協会の今年度の事業計画の一環として、良質な電気設備等の供給・整備・保全を継続的に確保するために、技術力の向上をはじめ優れた人材の育成・確保等が急務となりますので、各委員会の研修等を尊重しながら、更なる事業であるインターシップ実施にも力を傾注して努めていきたいと考えています。

新時代の波が来る年

郡山支部長



永井 博

今年、千支は申(さる)年で、十二支の一番目の年は西暦年を12で割ると割り切れる年です。

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

生可能エネルギーの増大が叫ばれる中、今年4月からは低圧電力の売電自由化が始まり、我々の仕事にも新しい時代の波が来る年となりそうです。

来年の4月から消費税が10パーセントに上がることが決定し、我々電気工事の駆け込み需要もある程度予想されますが、復興予算も最終年度となり穏やかに減速し始めそうです。

東日本大震災と原子力発電所被害から5年が経ち、ようやく復興の兆しは見えてきました。我々建設業界は更なる省エネルギー提案や電気の効率化、技術力を高め、社員育成を進めていきたいと思

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

コンプライアンス重要

いわき支部長



末永 英隆

昨年、世間で問題になったことと言えば、「杭打ちデーター改ざん問題」が思い出されます。当初は現場代理人の個人的な問題のような報道もあり、局所的な不正行為であるとされたようですが、その後、業界全体に広がる長期的・恒常

的な不正が徐々に明らかになってきました。こうした組織的な不正は、問題が深刻で広範囲に及び、建設業界全体への不信にまで発展しつつあります。

現在、コンプライアンスが強調される時代であり、安全であることが越えて、記録や情報を求められたときに提示し、安心まで確保するという考え方が要求されています。この問題は人ごとと捉えることはできません。

震災により生じた問題が未解決の中、本年も復興事業は続いています。こうした問題から見てくることを重要視し、人材育成を進めながら、お客様に安心をお届けする品質が確保できる復興事業としたいと考えています。

震災により生じた問題が未解決の中、本年も復興事業は続いています。こうした問題から見てくることを重要視し、人材育成を進めながら、お客様に安心をお届けする品質が確保できる復興事業としたいと考えています。

ならぬものはならぬ

会津支部長



佐藤 脩一

昨年一年間を振り返れば、関東東北の集中豪雨が発生し、貴い人命財産が失われ、我が日本国は近年大きな被害の連続です。

一方、福島県は、あの震災より早いもので5年目を迎え、昨年末には県当局により中期計画の発表がありました。今後その計画の

も5400カ所あるよう、発見された分だけでも556カ所ということです。建設業に携わる者として非常に残念なことでありま

昨年、年頭所感の中で「語り継がれる仕事を」と書きましたが、われわれ建設業協会の各会員が原点に戻り、県民のために何が出来るのか考える時ではないでしょうか。昔から会津の教えの中に「ならぬものはならぬ」という言葉があります。本年一年間、協会会員企業にとって無事故・無災害を御祈念致します。

うる年でありリオデジャネイロオリンピックの年です。文字の形に稲妻の意味があり、まさに電気業の年ではありませんか。再

東日本大震災と原子力発電所被害から5年が経ち、ようやく復興の兆しは見えてきました。我々建設業界は更なる省エネルギー提案や電気の効率化、技術力を高め、社員育成を進めていきたいと思

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

先口当社は創業92周年を迎え、郡山商工会議所90周年の式典で顕彰状をいただきました。3代目ではありませんが、自社の暖簾を絶やさないこと、無難な経営に優れた企業となるよう精進していきたいと思

設備設計と
担当職員

課題解決へ意見交換

効率化、品質向上を図る 設備設計 協会の参加

当協会は12月18日、郡山市のビックパレットふくしまで、設備設計担当職員と意見交換会を開催し、協会の意見交換会Ⅱ写真Ⅱを開き、設備設計業務の効率化や品質向上に向けて、施工上の課題や疑問点などを話し合った。設備設計事務所協会の参加は初めて。恒例の当協会と設備設計担当職員との意見交換会も行った。

協会からは佐藤春幸技師・安全委員長と会員各設計事務所協会を加えた



社員の現場代理人、技術職員の2部構成。第1部の冒頭で佐藤委員長が「きたんのない意見を出して、お互いの課題を解決し、設備設計業務の効率化や品質向上を図りたい」と述べ、各社に持ち帰り、各社の品質向上、個々のスキルアップを図り、電気設備のレベルアップにつなげてほしい」とあいさつした。

意見交換会の第2部では「仕事の範囲はどこまでやるのか」をテーマに監督員と設計者、施工者の役割について理解を深めた。当協会と県が、設計図書と現場条件の齟齬(そご)に関する事例とそ

の対処方法を発表。当協会は、改修工事や新設物の取付場所など既存物のありか、取付不能だったケースや、1期と2期で設計内容に整合性がとれていない事例などを紹介した。設計図書の精度向上のために必要な改善点等も出し合い、工事施工の効率化や品質向上、個々のスキルアップにつなげた。

第1部の県との意見交換では「何が忙しいのか」をテーマに日頃の業務で感じる課題、疑問点を互いに質問、回答し、理解を深めた。当協会と県が、設計図書と現場条件の齟齬(そご)に関する事例とそ

設計内容に整合性がとれていない事例などを紹介した。設計図書の精度向上のために必要な改善点等も出し合い、工事施工の効率化や品質向上、個々のスキルアップにつなげた。

意見交換にはこのほか、県建設業協会、県建設専門工事業団体連合会、県土木建築調査設計団体協議会、個別事業者1社が出席した。当協会からは坂本幹夫会長、大内厚専務理事が出席した。

日本電設工業協会東北支部からの主催。西澤一憲東北地方整備局管轄部長のあいさつに続き、①建設業における担い手確保対策②直接分断発注の促進③適正工期・適正予算の設定および工期延滞に伴う経費負担等の明確化④設計図書の不備⑤工事発注の平準化⑥入札要件の緩和および内容の検討をテーマに意見交換した。

4日、仙台市の江陽グラウンドホテルで開かれ、東北地方の発注機関と設備関係団体が担い手確保対策や直接分断発注の促進などについて意見を交わした。当協会からは坂本幹夫会長、大内厚専務理事が出席した。

日本電設工業協会東北支部からの主催。西澤一憲東北地方整備局管轄部長のあいさつに続き、①建設業における担い手確保対策②直接分断発注の促進③適正工期・適正予算の設定および工期延滞に伴う経費負担等の明確化④設計図書の不備⑤工事発注の平準化⑥入札要件の緩和および内容の検討をテーマに意見交換した。

県総合設備協会

指名競争の再導入要請

入札監視委 ヒアリング 週休2日モデル工事も

県入札制度等監視委員会による建設関係団体等の意見聴取が11月30日、福島市の杉妻会館で行われた。県総合設備協会(会長 坂本幹夫)が協会の意見交換会Ⅱ写真Ⅱを開き、設備設計業務の効率化や品質向上に向けて、施工上の課題や疑問点などを話し合った。設備設計事務所協会の参加は初めて。恒例の当協会と設備設計担当職員との意見交換会も行った。

協会からは佐藤春幸技師・安全委員長と会員各設計事務所協会を加えた

争入札の再導入や、総合評価方式の「施工計画の適切性に対する評価」の「評価基準公表」などを要請。人材確保対策として週休2日制モデル工事の設定も提案した。

坂本会長、副会長の松原兼一、県空調衛生工事業協会、当協会の大内厚専務理事らが出席し、入札監視委員会が設定した

化対策③入札不調対策④電子入札・電子閲覧⑤品確法等3法改正などについて意見を述べた。

総合評価方式の評価項目では、技術力として工事成績評定結果やISO品質管理認証、地域貢献度として緊急時出勤実績やボランティア活動などが、地方建設技術者の地位向上、適正賃金の確保が重要だと訴えた。

また、品確法の理念を

て、基準ポイント等の公表を求めた。「義務感と責任感が生まれ、入札不調対策にもつながる」として、指名競争入札の再導入も要請した。

入札不調原因の一つとなっている技術者作業員不足への対応策としては、発注の平準化と適正な工期設定、技術者養成機関(専門学校等)の拡充、さらなる常駐義務の緩和が有効としながらも、根本的な問題解消には、地方建設技術者の地位向上、適正賃金の確保が重要だと訴えた。

また、品確法の理念を

的な疑問点を聞き、改善して今後の施工に生かしたい」とあいさつ。当協会の佐藤委員長が「県民が安全・安心と感じる施工を行うよう、意見交換を通して今後の仕事に反映させたい」と述べた。

県発注工事の検査チェックポイントの内容を再確認した後、「随意契約(見積もり合わせ)の最低制限価格設定有無の明確な区分」県発注工事での完全週休2日制実現などの質問、要望事項に対して、県が説明・回答し意見交換した。

施工上の疑問点解消へ

県発注機関と意見交換会

会津支部



当協会会津支部と県空調衛生工事業協会会津支部は11月20日、会津若松

市の全県電気工事協同組合会館で県発注機関との意見交換会Ⅱ写真Ⅱを開き、工事現場での書類作成、点検内容など施工上の課題や疑問点などについて話し合った。

西支部会員と県から会津若松・喜多方・南会津建設事務所、会津大学の各担当者が出席した。澁谷修会津若松建設事務所建築住宅部長が、現場で施工する皆さんから、現実

的な疑問点を聞き、改善して今後の施工に生かしたい」とあいさつ。当協会の佐藤委員長が「県民が安全・安心と感じる施工を行うよう、意見交換を通して今後の仕事に反映させたい」と述べた。

県発注工事の検査チェックポイントの内容を再確認した後、「随意契約(見積もり合わせ)の最低制限価格設定有無の明確な区分」県発注工事での完全週休2日制実現などの質問、要望事項に対して、県が説明・回答し意見交換した。



会による建設関係団体等の意見聴取が11月30日、福島市の杉妻会館で行われた。県総合設備協会(会長 坂本幹夫)が協会の意見交換会Ⅱ写真Ⅱを開き、設備設計業務の効率化や品質向上に向けて、施工上の課題や疑問点などを話し合った。設備設計事務所協会の参加は初めて。恒例の当協会と設備設計担当職員との意見交換会も行った。

協会からは佐藤春幸技師・安全委員長と会員各設計事務所協会を加えた

争入札の再導入や、総合評価方式の「施工計画の適切性に対する評価」の「評価基準公表」などを要請。人材確保対策として週休2日制モデル工事の設定も提案した。

坂本会長、副会長の松原兼一、県空調衛生工事業協会、当協会の大内厚専務理事らが出席し、入札監視委員会が設定した

化対策③入札不調対策④電子入札・電子閲覧⑤品確法等3法改正などについて意見を述べた。

総合評価方式の評価項目では、技術力として工事成績評定結果やISO品質管理認証、地域貢献度として緊急時出勤実績やボランティア活動などが、地方建設技術者の地位向上、適正賃金の確保が重要だと訴えた。

また、品確法の理念を

て、基準ポイント等の公表を求めた。「義務感と責任感が生まれ、入札不調対策にもつながる」として、指名競争入札の再導入も要請した。

入札不調原因の一つとなっている技術者作業員不足への対応策としては、発注の平準化と適正な工期設定、技術者養成機関(専門学校等)の拡充、さらなる常駐義務の緩和が有効としながらも、根本的な問題解消には、地方建設技術者の地位向上、適正賃金の確保が重要だと訴えた。

また、品確法の理念を

的な疑問点を聞き、改善して今後の施工に生かしたい」とあいさつ。当協会の佐藤委員長が「県民が安全・安心と感じる施工を行うよう、意見交換を通して今後の仕事に反映させたい」と述べた。

県発注工事の検査チェックポイントの内容を再確認した後、「随意契約(見積もり合わせ)の最低制限価格設定有無の明確な区分」県発注工事での完全週休2日制実現などの質問、要望事項に対して、県が説明・回答し意見交換した。

的な疑問点を聞き、改善して今後の施工に生かしたい」とあいさつ。当協会の佐藤委員長が「県民が安全・安心と感じる施工を行うよう、意見交換を通して今後の仕事に反映させたい」と述べた。

県発注工事の検査チェックポイントの内容を再確認した後、「随意契約(見積もり合わせ)の最低制限価格設定有無の明確な区分」県発注工事での完全週休2日制実現などの質問、要望事項に対して、県が説明・回答し意見交換した。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

一般社団法人 東北電気保安協会

福島事業本部 福島市矢矧町1-22 ☎(024)526-1311
 福島事業所 福島市矢矧町1-22 ☎(024)526-2111
 原町事業所 南相馬市原町区上波佐原432-1 ☎(0244)22-3568
 郡山事業所 郡山市富田町福川原1 ☎(024)932-6054
 白河事業所 白河市十三原道上3-51 ☎(0248)22-6066
 いわき事業所 いわき市好間町上好間洞42-1 ☎(0246)36-1177
 若松事業所 会津若松市北町大字上荒久田字村北147 ☎(0242)32-3350
 田島事業所 南会津郡南会津町田島字南下原66-1 ☎(0241)62-4847

電気技術総合コンサルタント！！

自家用電気施設のごことは、お気軽に、ご相談下さい。

一般社団法人 東北電気管理技術者協会

協会本部／仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレシーザ仙台ビル TEL(022)261-6015

福島県支部／いわき市平赤井比良3-20 (0246)21-5516
 福島電気管理センター／福島市佐原字台26 (024)593-1266
 郡山電気管理センター／郡山市安積町荒井字北大部5-20 (024)946-2461
 会津電気管理センター／喜多方市塩川町会知字八幡町3050-1 (0241)27-7664
 相双電気管理センター／南相馬市原町区仲町一丁目157 (0244)22-2817
 白河電気管理センター／白河市本沼60-1 (0248)22-1568
 いわき電気管理センター／いわき市平泉崎字南集25-3 (0246)34-5551

高品質で省エネ LEDランプはレディオック

LEDiOC

岩崎電気株式会社 郡山営業所 〒963-8046 郡山市町東3-103 TEL.024(961)2292

http://www.iwasaki.co.jp

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電線資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13
TEL (022)783-8181

■福島営業所／福島市瀬上町字桜町3-123 ☎(024)553-8551(代)
 ■福島西営業所／福島市大森字街道下57-1 ☎(024)544-6228(代)
 ■郡山営業所／郡山市大槻町下町東52 ☎(024)961-6667(代)
 ■郡山南営業所／郡山市大槻町下町東52 ☎(024)961-6667(代)
 ■白河営業所／西白河郡西郷村大字米字中山前84-10 ☎(0248)21-1971(代)
 ■原町営業所／南相馬市原町区北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106(代)
 ■相馬営業所／相馬市椎木字北原104-1 ☎(0244)35-6350(代)
 ■いわき営業所／いわき市鹿島町御代字大一田1-1 ☎(0246)76-1055(代)
 ■平営業所／いわき市平塩字出口43-5 ☎(0246)35-6481(代)

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北支社

福島支店
 福島営業所 TEL (024)553-4165
 郡山営業所 TEL (024)934-3065
 いわき営業所 TEL (0246)75-0700

技術と信頼を誇る
電気、機械の総合メーカー！！

DAIZEN

大全電機株式会社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL (022) 288-0701代 FAX (022) 288-0705

平成27年度県営繕課設備担当職員との意見交換会

協会からの質問に対する県の回答

1. 工事の品質向上（工事費）		
Q 1	新営工事などの場合に、別発注となる備品工事や機械警備工事などの発注時期をなるべく早くすることは可能か。または情報提供を早くしてほしい	A 1 別発注の関連工事との工程調整は、工事の品質向上に重要な要素となる。備品工事や機械警備工事などで、機器仕様が決まらないことにより工程に影響が出ないよう調整を行い、情報を提供していきたい
Q 2	作業員不足により建築工事の工程に遅れが発生し、電気工事の工期が圧迫され、最後には建築工事とともに工期延長になってしまうケースがある。監督員は建築工程も気にして監理をお願いしたい	A 2 A 3 A 3 契約工期以降の予定変更は難しい場合もあるため、工程の遅れが生じないよう、引き続き建築工事等の関連施工者と工程調整をお願いしたい。また、監督員へ早めに工程調整を行うなど、工事が円滑に進められるよう協力を願いたい
Q 3	建築工程に付帯して行う工事（分離発注に限る）の場合、建築工程の遅れにより、竣工間際の電気および設備工事工程が圧迫されるケースが多いため、現場の状況、工程遅れの程度によっては、竣工日を建築工事と異なる日に変更する等の対応は可能か	
2. 工事の品質向上（工事費）		
Q 4	少量の土木工事の積上げ方法はどのようにしているのか	A 4 一般的な工事では「建築関係工事積算基準」により積算している。なお、復旧・復興事業の期間中は作業員不足も考えられるため、費用について見積もりを採用している事例もある
Q 5	昨今、現場内外での電線ケーブルや建設機械、電動工具等の盗難が多発し大変深刻な状況。監視カメラの設置や施錠の強化、施工方法の時期の工夫をしても防ぎきれない。金銭的な被害だけでなく、工事工程にも非常に大きな損害を与えるため、さらなる防犯対策として夜間警備員の配置が最も有効だと考えているが、多大な費用が発生し企業努力だけでは厳しい。工事規模や現場状況、リスクの程度に応じて警備員の配置が必要な場合は、その費用計上について協議する機会を設けてほしい	A 5 リスクの程度により、どのような方法が効果的かを費用面を含めて意見交換し、今後役に立てていきたい
3. 工事の品質向上（承諾・協議）		
Q 6	設計図書の「参考図」となっている機器図やシステム系統図は、設計図書通りではない場合、監督員から協議書の提出を求められるが、「参考図」ではないのか？製作メーカーが限定される。性能、設備仕様が同等であれば承諾にならないのか？	A 6 設計図書の仕様で、メーカーを指定することはない(特殊な工事を除く)。機器承諾の際には、監督員と打ち合わせを十分にを行い、設計図書の仕様に合った機器を選定してほしい
Q 7	協議書で「ご指示願います」と記載した場合、指示書を発行するようになるのか。または「協議の通りとする」になるのか？	A 7 「監督員と協議」とは、協議事項について、監督員と受注者等が結論を得るために合議し、その結果を書面に残すことをいい、「監督員の指示」とは、監督員が受注者等に対して工事の施工上必要な事項を書面によって示すことをいう
4. 現場管理について		
Q 8	改修工事でメタルモールを敷設する際、「利用者やメンテナンスに配慮した場所を選ぶ」か、「生徒からのいたづらを防ぐために目立たない場所を選んで敷設する」かで監督員によって意見が分かれている。県の方針を統一すべきではないか。確認をとり承諾を得て施工しているにも関わらず、見方によっては指摘を受ける場合があった	A 8 A 12 利用者の視点で施工することや、将来の設備更新、改修に配慮することは「永く生きる建築」を実現する上で重要なものと考えている。また、工事の品質向上について、日頃考えていることを意見交換できればと考えているので、積極的に提案をお願いしたい
Q 9	設計図は、設計者から県に提出され、県が確認をすると思うが、その時点で県が確認した内容を請負者に公表してはどうか。設計と現場の齟齬が少しは減ると思う	
Q 10	公営住宅を建設する際に、設計事務所へ監理委託し施工することがあるが、監理委託しない場合との問題点の共有は、県の担当者はどのように行うのか	
5. 業務の効率化（監督員）		
Q 11	変更図を作成した場合、紙ベースのほかにPDF、JWWのデータを要求されるが、通常どこまで行うべきかよく分からない。監督員とのコミュニケーション次第で対応が変わる可能性があるのでは統一見解として把握したい	A 13 A 14 県担当者の対応について意見交換を行い、どうすれば業務の効率化につなげていけるかを考えていきたい
Q 12	新たな施主要望事項の場合は、指示書を発行してほしい。指示書が遅くなると、提出書のつじつまが合わなくなり、竣工検査時に日付合わせに時間を要するため、休日出勤、残業が増える結果となる。内容変更月日後、竣工検査前日契約もあり得る(指示書月日、施工図承認月日、納入仕様月日、試験月日等)	
Q 13	施工途中での計画変更等が生じた場合、施工者には見積もりや資料提供を急がせるが、監督員に提出した後の処理が非常に遅く、竣工間際になることが多い。見切り発車で施工しているのが現状	
Q 14	変更工事があった場合、施工者側に施工方法を求めるのではなく、監督員から提案してほしい	
6. 業務の効率化（設計・積算）		
Q 15	改修工事等の既設と絡みがある工事で設計図と現場の相違が多く、変更が発生している例がある。設計図が当てにならず、既存設備の現地調査や詳細図面の作成工事費などの設計業務が増える場合があり、その場合の経費を考慮してほしい	A 15 A 17 設計内容について意見交換を行い、どうすれば業務の効率化につなげていけるかを考えていきたい
Q 16	設計時の計算データを共有することで、施工側の計算書と比較することができ、資料作成が容易になる	
Q 17	改修工事等の場合、既存設備の概要・仕様・配線状況等の現地情報が判明しづらく、想定・仮定を基に設計図書・予算計上がされてしまっているのではと思われることがある。施設既存図の保管、改修履歴などが常に明確になるよう施設側の管理体制を強化してほしい。既存図面のCADデータ化、PDFデータ化等で改修履歴を把握できるよう台帳管理の改善を図り、設計・施工段階で貸与してはどうか	
7. 業務の効率化（書類）		
Q 18	県の様式や提出書類に変更があった場合、連絡・通知等で知らせてもらえないか	A 18 A 19 書類関係について意見交換を行い、どうすれば業務の効率化につなげていけるかを考えていきたい
Q 19	入札の設計図書閲覧は、CDデータでの貸し出しにしてほしい	
8. 設計成果品の精度向上		
Q 20	金抜き設計書（数量内訳書）は、福島県工事請負約款に基づく「設計図書」に含まれておらず、記載されている数量は積算上の参考数量であって、発注者と受注者を拘束するものではないと定義されているが、以下の事例が発生した場合の対応について見解の統一を図りたいので協議願いたい ①設計図面と金抜き設計書に記載されている資材の数量もしくは仕様が異なっていて、金抜き設計書の方が上位であった場合、設計図面の仕様・数量を優先して問題ないか ②既設設備の撤去工が含まれており、金抜き設計書に産業廃棄物処理の数量が明示されている工事で、実際に現場で発生した産廃物の数量が金抜き設計書より少なかった場合、契約変更（減額）の対象となるか	A 20 品確法の改正に伴い、予定価格の適正な設定や適切な設計変更が位置付けられ、現在、県では「設計変更ガイドライン」の策定に向け、作業を進めている。事例のような場合の対応をどうするかを含め整理したいと考えているが、明らかに不整合と思われる場合は、発注者と受注者で打ち合わせを行い進めていくことが必要

県有建築物を減災化

CO2削減、再エネ導入促進

新しい年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

皆様には、口頭本県の建築行政の推進につきまして、格段の御協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災からまもなく5年が経過しますが、原子力災害という重荷を背負った福島復興はまだ途上にあります。

新年度から始まる今後5年の復興・創生期間は、県が抱える被災者の生活

再建や産業の再生などの課題に果敢に立ち向かい、将来にわたって復興を進めていく上で極めて重要な期間であり、本年は、その第一歩となる大切な一年であります。

そのため建築総室として、環境にやさしく、環境負荷の少ない県有建築物の整備や保全を進めるため、二酸化炭素排出量の削減を促進することも、再生可能エネルギーの導入に率先して取り組んでまいります。

また、災害に強いまちづくりを進めるため、大震災時に落下等で被害が発生する恐れがある昇降機や高架水槽等の地震対策を図る非構造部材減災化計画により、全庁的に県有建築物の減災化に取り組むこととしており、

原子力災害による避難者の生活再建を図り、居住の安定を確保するため、復興公営住宅を全体で4890戸整備することとしており、これまでに955戸が完成いたしました。残り戸数についても、早期整備に全力で取り組むとともに、入居者の声を傾けながら、良質な住環境の提供に努めてまいります。

県土木部建築総室事業展望

新年明けましておめでとうございます。

福島県建設業協会の皆様には、お健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また平日頃から、生産連の目的遂行のため多大なご協力を頂いており、感謝申し上げます。



会長 小野 利 廣

公共事業確保に努める

(一社)福島県建設産業団体連合会

社会推進センターでは、県の委託を受け、急仮設住宅の維持修繕、更に復興公営住宅入居支援業務等を担い、避難者の自立へ向けた

サポート事業に取り組んできておりますが、このような状況から抜け出されるよう、本会

が県内外に避難していることを考えますと心が痛むところであります。

この避難者のため現在、生産連が設置しているNPO法人循環型

を挙げ県土回復・再生整備に努めていく所存であります。

書復旧工事が完了しているところでは工事量不足気味にあり、先行きにつきましては建設産業全体が懸念を抱いております。

また、このほかにも地域の建設業は、従事者の高齢化や設計積算・入札契約制度、元下等の建設生産システム等に様々な課題を有しており、これらについても生産連として真摯な取り組みを行ってまいります。

機能アップ

- ブレーカ探査
- ケーブル探査
- 埋設線探査
- 漏電点探査(死線)
- 回路電圧表示

Superラインチェッカ TLC-C形

T.gami 株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス
TEL 022-295-5571 FAX022-295-5573

最新鋭 **CIM CAD+CAM**

配分電盤、制御盤メーカー
品質・環境 ISO 9001
マネジメント ISO 14001 取得

ワム

株式会社 山形電機製作所

本社/〒990-2211 山形市十文字1318-5
TEL023-686-4316代 FAX023-685-1011
北海道千歳工場/〒066-0051 千歳市泉沢1007-72
TEL0123-28-3377 FAX0123-28-3379
支店/東京支店・東北支店・札幌支店
営業所/山形営業所・秋田営業所・岩手営業所・福島営業所

..... ちょっと一服! 豆知識

「水力発電①」

水力発電は、高所から流れ落ちる河川などの水を利用して落差を作り、水車を回して発電します。利用面から流れ込み式(水路式)、調整池式、貯水池式、揚水式に分けられ、下池の水を上池に揚げ、必要時に放流して発電する揚水式以外を一般水力と呼んでいます。

平成25年度末の国内の全水力発電設備容量は4893kW、年間発電電力量は849億kWhで、国際的に見ると、水力発電導入量の日本のシェアは5%程度です。(出典・エネルギー白書2015)

URL <http://www.towagp.co.jp/>

東和電機工業株式会社

受配電制御システム設計製造
中央監視システム設計
各種プラント制御システム
空調・衛生計装制御盤の設計製造
新エネルギーシステム関連事業
コージェネレーションシステム関連事業
認定キュービクル・耐熱形分電盤設計製造

郡山営業所 所長 白 取 隆
〒963-8851 郡山市開成5-18-20
マイシティ開成1F
TEL024-933-3299 fax024-934-5178

Challenge & Creative
TOWA

交通・鉄道信号/駅務機器

地中埋設物探索レーダ

駐車場機器

日本信号株式会社 東北支店
〒980-6122 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AERビル
TEL (022)261-8371 FAX (022)225-4627

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
郡山支店

支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎ (024) 934-0859
FAX (024) 934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

年 男 年 女

年 生

- ▽福島支部・下山仁(株) 下山電工・昭和31年生
- ▽郡山支部・水品幸意(株) 常電舎・昭和31年生
- ▽いわき支部・末永英隆(いわき電気工業(株) 昭和19年生)
- ▽いわき支部・小松元義(小松電工(株) 昭和19年生)
- ▽相双支部・富澤佳明(株) 東京エレクトロ・昭和43年生

昨年未だ12月とは思えない暖かい日が続き、年末の忙しさも例年に比べスムーズにこなせることが出来たように感じます。

編集後記

6月に開催いたしました安達太良カントリークラブでの第6回親善ゴルフ大会では、福島支部の会員の皆様に大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。